



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月6日

上場会社名 株式会社リンコーコーポレーション 上場取引所 東
 コード番号 9355 URL http://www.rinko.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 南波 秀憲
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 前山 英人 TEL 025-245-4112
 四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	7,157	△19.0	△335	—	△215	—	△395	—
2020年3月期第2四半期	8,840	0.0	282	△36.8	305	△33.4	204	△39.0

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 △166百万円 (—%) 2020年3月期第2四半期 78百万円 (△83.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△146.46	—
2020年3月期第2四半期	75.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	37,390	14,477	38.7	5,366.68
2020年3月期	37,436	14,724	39.3	5,458.26

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 14,477百万円 2020年3月期 14,724百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	—	—	30.00	30.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,130	△15.9	△610	—	△500	—	△470	—	△174.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	2,700,000株	2020年3月期	2,700,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	2,418株	2020年3月期	2,418株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	2,697,582株	2020年3月期2Q	2,697,592株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

2020年4月1日から9月30日までの6ヶ月間（以下、当第2四半期）におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴い、企業活動や国民生活が抑制され、景気の悪化が急速に進みました。緊急事態宣言の全面解除後、社会経済活動の段階的な再開や政府の各種政策により持ち直しの傾向が見られますが、感染症の再拡大が懸念される中、依然として先行きは不透明な状況が続いていると認識しております。

このような状況の下、当社企業グループの事業拠点である新潟港全体の貨物取扱量は前年同四半期比で減少し、当社企業グループの主力である運輸部門の貨物取扱量も第1四半期に引き続き減少いたしました。ホテル事業部門においては、GoToキャンペーンや新型コロナウイルス感染予防対策の徹底などにより、徐々に客足の回復が見られるものの、未だコロナ禍以前の状態には回復していません。

この結果、当第2四半期の当社企業グループの売上高は71億5千7百万円（前年同四半期比19.0%の減収）、営業損失は3億3千5百万円（前年同四半期は2億8千2百万円の利益）、経常損失は2億1千5百万円（前年同四半期は3億5百万円の利益）となりました。また、投資有価証券の時価の下落に伴う投資有価証券評価損1億5千7百万円を特別損失として計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純損失は3億9千5百万円（前年同四半期は2億4百万円の利益）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(運輸部門)

当社運輸部門と運輸系子会社4社を合わせた同部門の当第2四半期の貨物取扱量は、一般貨物、コンテナ貨物共に減少し、合計で前年同四半期比13.0%減少の268万トンとなりました。コンテナ貨物については、コロナ禍での巣ごもり消費などにより、日用雑貨品など一部の輸入貨物の取扱は堅調に推移したものの、アジアを中心とした輸出貨物の荷動きの回復は鈍く、同四半期比で3.6%減少しました。また、一般貨物についても市況低迷の影響から、主要貨物である素材原料の取扱が減少し、同四半期比で27.8%減少しました。

この結果、同部門の売上高は48億4千3百万円（前年同四半期比7.0%の減収）となり、利益面では燃料価格の低下や下払輸送費など変動費は減少したものの、売上高減少の影響で労務コストや減価償却費を中心とした固定費を賄いきれず、同部門のセグメント損失は8千8百万円（前年同四半期は1千4百万円の損失）となりました。

(不動産部門)

同部門の業績に大きな変動はないものの、前期末に取得した新規賃貸物件が増収に寄与し、売上高は1億6千1百万円（前年同四半期比0.6%の増収）、セグメント利益は9千9百万円（前年同四半期比0.2%の増益）となりました。

(機械販売部門)

建設機械販売については大型機械の販売などもあり堅調に推移しましたが、整備事業につきましては、部品の販売等が減少した結果、同部門の売上高は7億7百万円（前年同四半期比3.5%の減収）、0百万円のセグメント損失（前年同四半期は5百万円の損失）となりました。

(ホテル事業部門)

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言の発出、また解除後も不要不急の外出自粛や宴会を控える状況が続いたことが、同部門の業績に大きな影響を及ぼしました。最近では政府によるGoToキャンペーンの効果が始まる、株式会社ホテル新潟、株式会社ホテル大佐渡共に回復の兆しが見えてきましたが、第1四半期までの業績悪化をカバーするには至っておりません。

この結果、ホテル2社を合わせた同部門の売上高は、4億9千2百万円（前年同四半期比69.9%の減収）、セグメント損失は3億8千4百万円（前年同四半期は1億7千5百万円の利益）となりました。

(商品販売部門)

建設資材販売については、セメント系商品の納入先である工事案件が前年同四半期比で減少したことから減収となりました。また、貿易代行についても新型コロナウイルスの影響などもあり低調に推移しております。この結果、同部門の売上高は8億7千万円(前年同四半期比15.7%の減収)、セグメント利益は1千8百万円(前年同四半期比14.1%の減益)となりました。

(その他)

保険代理店業、産業廃棄物の処理業を合わせたその他の売上高は、1億4千5百万円(前年同四半期比10.0%の増収)、セグメント利益は1千7百万円(前年同四半期比205.6%の増益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産の部は、前連結会計年度末と比べて4千5百万円減少し、373億9千万円となりました。この主な要因は、受取手形及び営業未収入金、電子記録債権等の増加により流動資産が1億4千1百万円増加した一方、有形固定資産の減価償却等により固定資産が1億8千7百万円減少したことなどによるものです。

負債の部は、前連結会計年度末と比べて2億1百万円増加し、229億1千3百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び営業未払金、電子記録債務、退職給付に係る負債、リース債務を除く有利子負債の増加などによるものであります。

純資産の部は、前連結会計年度末に比べて2億4千7百万円減少し、144億7千7百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金の減少4億7千6百万円、その他有価証券評価差額金の増加2億1百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年8月4日に公表しました通期の連結業績予想の売上高、営業損失、並びに経常損失については、現時点で修正はございません。

また、当第2四半期において特別損失として計上しました投資有価証券評価損については、四半期において洗替え方式を採用しているため、2021年3月末日の株価により、当該損失額が変動、もしくは計上しない可能性があります。したがって、現時点では親会社株式に帰属する当期純損失の予想値についても修正は行っておりません。

ただし、他の要因も含めて業績予想の修正が必要と判断される場合は、速やかに開示いたします。

(注) 上記予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	448,779	477,416
受取手形及び営業未収入金	2,720,889	2,836,087
電子記録債権	326,412	401,700
たな卸資産	93,762	101,545
未収還付法人税等	20,777	811
その他	283,094	219,248
貸倒引当金	△998	△2,235
流動資産合計	3,892,718	4,034,574
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	24,135,037	24,165,850
減価償却累計額	△16,060,932	△16,305,406
建物及び構築物(純額)	8,074,104	7,860,444
機械装置及び運搬具	2,412,220	2,307,942
減価償却累計額	△2,065,138	△1,992,208
機械装置及び運搬具(純額)	347,082	315,734
土地	22,013,326	22,013,326
リース資産	712,317	735,157
減価償却累計額	△340,346	△360,037
リース資産(純額)	371,971	375,119
建設仮勘定	—	5,772
その他	1,274,790	1,279,151
減価償却累計額	△1,096,692	△1,112,453
その他(純額)	178,097	166,697
有形固定資産合計	30,984,583	30,737,096
無形固定資産		
リース資産	158,143	141,876
その他	44,305	37,603
無形固定資産合計	202,449	179,479
投資その他の資産		
投資有価証券	2,027,896	2,106,280
繰延税金資産	93,611	96,380
その他	427,176	277,071
貸倒引当金	△191,637	△39,902
投資その他の資産合計	2,357,046	2,439,829
固定資産合計	33,544,078	33,356,405
資産合計	37,436,797	37,390,979

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	1,371,412	1,446,918
電子記録債務	188,514	212,226
短期借入金	2,350,000	2,050,000
1年内返済予定の長期借入金	2,611,982	2,696,196
リース債務	168,939	172,141
未払法人税等	44,577	42,380
賞与引当金	299,022	301,202
その他	692,883	721,160
流動負債合計	7,727,331	7,642,225
固定負債		
長期借入金	7,184,852	7,425,484
リース債務	385,260	369,570
繰延税金負債	827,181	864,753
再評価に係る繰延税金負債	4,875,664	4,875,664
退職給付に係る負債	1,375,449	1,417,096
資産除去債務	170,825	171,979
その他	166,143	147,141
固定負債合計	14,985,375	15,271,689
負債合計	22,712,706	22,913,914
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,950,000	1,950,000
資本剰余金	809,241	809,241
利益剰余金	2,776,581	2,300,561
自己株式	△7,062	△7,062
株主資本合計	5,528,760	5,052,740
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	134,302	335,648
土地再評価差額金	9,406,573	9,406,573
退職給付に係る調整累計額	△345,545	△317,897
その他の包括利益累計額合計	9,195,330	9,424,324
純資産合計	14,724,090	14,477,065
負債純資産合計	37,436,797	37,390,979

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高		
運輸作業収入	4,740,110	4,480,810
港湾営業収入	73,243	66,824
不動産売上高	148,295	149,831
機械営業収入	712,702	675,957
ホテル営業収入	1,632,375	490,308
商品売上高	1,011,455	856,170
その他の事業収入	522,690	437,426
売上高合計	8,840,873	7,157,328
売上原価		
運輸作業費	4,450,378	4,286,547
港湾営業費	60,393	54,922
不動産売上原価	51,398	53,990
機械営業費	677,380	643,439
ホテル営業費	1,283,600	720,557
商品売上原価	981,721	829,162
その他の事業費用	347,270	267,883
売上原価合計	7,852,143	6,856,503
売上総利益	988,729	300,824
販売費及び一般管理費	706,344	635,878
営業利益又は営業損失(△)	282,384	△335,054
営業外収益		
受取利息	4,034	23
受取配当金	53,287	39,154
助成金収入	—	113,387
雑収入	8,027	12,279
営業外収益合計	65,349	164,844
営業外費用		
支払利息	41,465	42,659
雑支出	644	2,398
営業外費用合計	42,110	45,057
経常利益又は経常損失(△)	305,623	△215,267
特別利益		
固定資産売却益	1,288	11,722
投資有価証券売却益	1,392	—
特別利益合計	2,680	11,722
特別損失		
固定資産処分損	24,708	16,007
投資有価証券評価損	—	157,555
会員権評価損	—	525
特別損失合計	24,708	174,087
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	283,595	△377,632
法人税、住民税及び事業税	67,963	28,390
法人税等調整額	10,710	△10,929
法人税等合計	78,674	17,460
四半期純利益又は四半期純損失(△)	204,921	△395,092
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	204,921	△395,092

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	204,921	△395,092
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△149,049	201,345
退職給付に係る調整額	22,279	27,648
その他の包括利益合計	△126,769	228,994
四半期包括利益	78,151	△166,097
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	78,151	△166,097

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、当社企業グループにおきましては、ホテル事業部門を中心に大きな影響を受け、売上高の減少リスクが生じていると認識しております。

このような状況を踏まえ、当社企業グループは2021年3月頃までその影響が続くとの仮定に基づき、会計上の見積り（主に固定資産の減損、繰延税金資産の回収可能性）を実施しております。当該仮定につきましては、前連結会計年度から重要な変更はありません。

なお、当該見積りは現時点における最善の見積りではありますが、新型コロナウイルス感染症の収束時期や事業環境への影響についての不確実性が高いため、今後の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	運輸部門	不動産部門	機械販売部門	ホテル事業部門	商品販売部門	計		
売上高								
外部顧客への売上高	5,203,943	148,295	712,702	1,632,375	1,011,455	8,708,772	132,100	8,840,873
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,895	12,332	20,480	5,151	20,620	63,480	—	63,480
計	5,208,838	160,628	733,183	1,637,526	1,032,076	8,772,253	132,100	8,904,353
セグメント利益又は損失(△)	△14,646	99,499	△5,914	175,424	21,971	276,334	5,844	282,178

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理店業務、産業廃棄物の処理業務等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	276,334
「その他」の区分の利益	5,844
セグメント間取引消去	100
その他の調整額	105
四半期連結損益計算書の営業利益	282,384

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	運輸部門	不動産部門	機械販売部門	ホテル事業部門	商品販売部門	計		
売上高								
外部顧客への売上高	4,839,735	149,831	675,957	490,308	856,170	7,012,003	145,324	7,157,328
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,521	11,745	31,489	2,629	13,900	63,286	—	63,286
計	4,843,257	161,577	707,446	492,937	870,070	7,075,289	145,324	7,220,614
セグメント利益又は損失(△)	△88,786	99,729	△832	△384,064	18,873	△355,079	17,863	△337,216

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理店業務、産業廃棄物の処理業務等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△355,079
「その他」の区分の利益	17,863
セグメント間取引消去	1,499
その他の調整額	662
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△335,054

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。